

## 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立野田小学校  
校長 本田 稔

中学校区におけるめざすこども像  
自ら学びあきらめずに問題解決する子

令和8年度 重点目標  
○「自ら学びを進めるこども」の育成 基礎・基本を土台とした探究的な学びの充実

### 「確かな学び」の現状

- ・落ち着いた態度できちんと話を聞くことはできるが、学年が上がるにつれ、発表する児童が減少する傾向にある。安心して発言できる学級づくりを継続しながら、児童が主体的に学習に参加したくなる授業づくりや仕掛けを工夫していく。
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査(6年)、大阪府学力調査(5.6年)、堺市学力状況調査(4.5.6年)に於いては、学年、教科を問わず、全国・府・市の平均を上回っている。
- ・保護者アンケート(令和7年12月実施)における家庭学習の項目に関しては、肯定的回答が59%であった。取組を工夫する必要がある。

### 「豊かな心・健やかな体」の現状

- ・素直で明るく優しい子供が多く、規範意識も育っている。
- ・真面目で何事にも一生懸命取り組むが、新たなことへ挑戦する意欲や勇気を育む必要がある。不登校児童も増加傾向にあり、学級づくりなど学校生活全体を通して自尊感情を高めていく必要がある。
- ・体育的な活動や行事には積極的に取り組むことができる。令和7年度新体力テストでは、堺市平均に対して男子はやや上回り、女子は同等であった。体育の時間における運動量の確保、昼休みの外遊び奨励など継続して取り組む。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	知識技能	基礎基本の確実な定着 自学力の育成	★各種学力調査の結果分析を通じた指導法の工夫。家庭学習の啓発等により基礎学力の一層の定着を図る。	83%以上の子どもが「授業がわかる」、65%の保護者が、家庭学習について肯定的に回答する。	学校教育アンケート	学年末			
	授業改善	「自ら学びを進める子ども」の育成	●児童自ら疑問や問いをもち、主体的に思考を進める授業の実践。	82%以上の児童が「授業では、自分の考えを伝えている」85%の児童が「自分に合った学び方を選択している」と回答する。	学校教育アンケート 実施状況	年度末			
			★全教育活動を通して、カリキュラム・マネジメントを活用した「思考力・判断力・表現力」の育成や教職員の取組を共有する。	全教員が研究授業を行い、85%の教員が「『思考力・判断力・表現力』を向上させる取組や教科横断的な学習活動を実施し、成果を実感している」と回答する。	学校教育アンケート 実施状況	年度末			
			●ICTの効果的な活用法について情報共有し、日常的に使用して学習が苦手な児童の支援につなげる。	ほぼ全ての教員が「ICTを授業で有効活用した」と回答する。	学校教育アンケート 実施状況	年度末			
		授業のUD化(視覚化・焦点化・共有化)や特性理解(アセスメント含)の視点を取り入れ、安心できる学習環境、わかる・できる授業づくりに取り組む。	ほぼ全ての教員が、「ユニバーサルデザインや特性について理解し、意識して指導に取り組んでいる」と回答する。	学校教育アンケート	年度末				
豊かな心	豊かな心	「自らを律し、自分も人も大切にできる子ども」の育成	●自尊感情を高め、多様性を認め合える集団を育成しいじめの防止、早期発見・解決につなげる。 学校生活のきまりについての意義を理解し、守る態度の向上を図る。	85%の職員が「指導計画に基づくピア・サポートを実践し、効果があった」と回答する。 85%の教員が「各月の目標によりきまりを守る態度の向上が見られた」と回答する。	学校教育アンケート 実施状況 学校教育アンケート	年度末 年度末			
	健やかな体	健康・安全に対する意識と体力の向上	学校生活全体での活動量確保や、自ら運動することの良さを知り進んで体を動かそうとする態度を育成する。 食育や学校検診の機会を通して自らの健康・安全に関心を持ち、免疫力を高めようとする意識をはぐくむ。	85%の教員が「活動量を保障した体育科学習や運動することの楽しさ大切さを子どもたちが理解できるように指導している」と回答する。 85%の教員が、「病気・けがの予防や免疫力の向上について指導している」と回答する。	学校教育アンケート 実施状況 学校教育アンケート	年度末 年度末			
連携	学校群	小中連携	★小中職員が連携し、めざすこども像の実現に向けて合同の研修を行い、計画に沿って実践する。	合同研修、関係職員の会議、中学校の授業見学、情報交換、児童・生徒の交流等を前年度以上実施したか。	実施状況	年度末			
	発信	教育活動の発信	HPや各種通信、学級懇談会などを通じて、学習活動の様子や学校の現状を発信する。	ほぼ全ての教員が、「何らかの手段で、教育活動の様子を発信した」と回答する。	学校教育アンケート	年度末			

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)